

好きなものを
嫌いなものを
好きなものを
嫌いなものを

フィンランド・
オウル国際青少年映画祭
正式招待

「ひめゆり」
柴田昌平監督第2作

山の世界つて
宇宙人だな

森
m o r i k i k i
間



長編ドキュメンタリー映画

製作・配給：プロダクション・エイシア 助成：文化芸術振興費補助金
2010年/日本/カラー/125分/ブルーレイ・DVCAM・DVD/16-9

©プロダクション・エイシア

<ひだ森シネマ 2>

昨年の「木樵」に引き続き、“森の”ドキュメンタリー映画を上映します。

「森聞き (2010年/日本/2時間5分)」 上映会

■2023年7月22日(土) 18:30 上映開始/18:00 開場



■入場無料 (事前申込・先着 50 名)

■高山市民文化会館 4F 大会議室

主催) ひだの未来の森づくりネットワーク

<問合せ先 h.miraimori.net@gmail.com>

高校生が「森の名人」を訪ね、一対一で聞き書きをする『森の聞き書き甲子園』。2008年の全国100人の取組みから4人をカメラは追っていきます。“高校生は、名人が大切にしてきた、自然とともに生きる知恵や技術、そして心をついていねいに聞いていきます。・・・「聞き書き」は、名人を知ると同時に、自分を見つめる機会でもあるのです。(「聞き書き甲子園」HPより)“



そして画面には、フィンランドのボーカルグループ RAJATON のすてきな旋律が流れます。

～♪僕らは霧の中をさまよっている ♪月の光に耳をすまそう～

「答え」がほしい若者。「答えのない世界」で淡々と仕事をこなす名人。4人の若者がそれぞれにもがく姿は、やがて一つの層に重なり合っていきます。

「どこが好きですか?・・・一番つらかったのは?・・・」空回りを続ける若者をいなしつつ、名人は仕事の手を休めることなく、『一生の仕事だから。だから、どこが好きではない。』と。他の名人はこうも言う。『一生、山子(木こり)で終わったが、振り返って何も後悔はしない。山が与えた空間、そういうものもいいんじゃないかと思ってる。』

「森との共生」という、そこかしこで語られるこの言葉に、どことなくもどかしを感じる私たちにも、『人間が、自然に合わせていかないと。』と、スッと語る名人の言葉は響きます。森を愛する多くの飛騨びとに、ぜひ観ていただきたい映画です。

【お申込みはこちらから】 → → → →

<https://forms.gle/4e3JtiT8s6VdX5N58>

※あるいは下記アドレス宛に、表題『森聞き上映申込』として、「お名前」「ふりがな」をご記入の上メールしてください。

<h.miraimori.net@gmail.com>

